【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】令和3年7月26日(2021.7.26)

【公開番号】特開2019-215065(P2019-215065A)
【公開日】令和1年12月19日(2019.12.19)
【年通号数】公開・登録公報2019-051
【出願番号】特願2018-113717(P2018-113717)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｌ　55/00　(2006.01)
Ｅ０３Ｃ　1/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｌ　55/00　Ｓ
Ｅ０３Ｃ　1/12　Ｃ
Ｅ０３Ｃ　1/12　Ｅ

【手続補正書】
【提出日】令和3年5月20日(2021.5.20)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
掲除口部を有する筒状の継手本体と、
回転させながら前記掲除口部に装着される蓋体と、を備え、
前記蓋体の前記掲除口部への装着時に、
前記掲除口部の中心軸方向からの平面視において、前記蓋体のフランジ部が非真円形状を有し、
前記フランジ部の最外周の少なくとも一部が、前記掲除口部の最外周と重なることを特徴とする管継手。
【請求項２】
前記平面視において、前記フランジ部の外周が、円弧と辺とで構成されることを特徴とする請求項１に記載の管継手。
【請求項３】
前記蓋体の外側面のうち前記継手本体側が、前記継手本体に近づくにつれて傾斜する第一テーパー部を有し、
前記掲除口の内側面のうち前記継手本体側が、前記継手本体に近づくにつれて傾斜する第二テーパー部を有しており、
前記第一テーパー部と前記第二テーパー部とが互いに当接することを特徴とする請求項１または２のいずれかに記載の管継手。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１６】
本発明の管継手では、蓋体の締め付け状態を外観から判断することが可能となる。